本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

MARM

FT Vest 米国株マックスバッファーETF-3月

2026/6/30

» ファンドの目的

この上場投資信託（ETF）は、約1年間（以下「ターゲットアウトカム期間」）にわたり、State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust（SPY）のプライスリターン（手数料および費用控除前）に連動することを目指し、事前に定められた収益の上限まで投資家に提供する一方、最大限のバッファー（手数料および費用控除前）を提供します。

» ファンド概要

ファンドティッカー	MARM
CUSIP	33740U612
ISIN	US33740U6120
iNAVティッカー	MARMIV
ファンド設定日	2024/03/26
総経費率	0.85%
主要取引所	Cboe BZX

» ファンド詳細

» 当ファンドは、「ターゲット・アウトカム戦略」を用いて運用されており、特定の期間（以下「ターゲット・アウトカム期間」において、あらかじめ決められた成果を達成することを目指します。この成果は、ターゲットアウトカム期間の初日に当ファンドを保有し、ターゲットアウトカム期間の最終日まで保有し続ける投資家に対してのみ実現する可能性があります。

» 当ファンドは、SPYを原資産とするフレキシブル・エクスチェンジ・オプション（FLEXオプション）に実質的に全資産を投資します。FLEXオプションは、投資家が行使価格、スタイル、満期日などの主要な契約条件をカスタマイズできるオプション契約です。

- 当ファンドは、年1回にリセットされ、新しいターゲット・アウトカム期間の初日に、新しいバッファーとキャップを設けるために、新しいFLEXオプションに投資します。
- 各ターゲット・アウトカム期間において、当ファンドはFLEXオプションのプット・オプションとコール・オプションの購入と売却からなるポートフォリオを構築します。

» 当ファンドは、事前にアップサイドキャップを少なくとも7%に設定する一方、損失に対し最大限のバッファーを提供することを目指します。最初のターゲット・アウトカム期間のバッファーは100%となる見込みですが、その後のターゲット・アウトカム期間のバッファーの予想値は20%から100%の間となります。

- 当ファンドが少なくとも7%のキャップを設定しながら、原資産ETFの損失に対し100%のバッファーを設定できない場合、7%のキャップが設定できる最大のバッファーを求めることになります。
- 当ファンドが少なくとも7%のキャップを設定しながら、原資産ETFの損失に対し100%のバッファーを設定できる場合、7%を超えるキャップを事前に求めます。
- 最低キャップが7%でバッファーが20%に満たない場合、当ファンドは最低キャップを引き下げて少なくとも20%のバッファーが得られるようにします。

» ターゲット・アウトカム期間が終了すると、新たなターゲット・アウトカム期間が始まります。ターゲット・アウトカム期間の成果が実現する保証はありません。後続の各アウトカム期間のキャップは、当初のアウトカム期間とは異なる可能性があります。

» ファンド・サブ・アドバイザー

» Vest Financial LLC（以下「Vest」）はファンドのサブ・アドバイザーであり、ファンドのポートフォリオを管理します。

- Vestは2012年に設立され、2016年に初めて市場に導入されたターゲット・アウトカム戦略®を採用した初の投資ファンドを運用しました。

» パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額(NAV)	2.12	3.33	6.32	—	—	—	7.38
市場価格	2.03	3.30	6.26	—	—	—	7.38
指数パフォーマンス**							
S&P 500® Index	15.20	10.21	22.32	—	—	—	19.04

引用されているパフォーマンスデータは過去のものです。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は *www.ftportfolios.jp* から確認できます。

*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

FT Vest 米国株マックスバッファーETF-3月

2026/6/30

» アウトカム期間開始時の設定値

保有証券数	4
シリーズ	3月
原資産	State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust
アウトカム期間	3/23/2026 - 3/19/2027
ファンドキャップ率（ネット）	7.00% (6.15%)
バッファー（ネット）	77.82% (76.97%)
期間開始時のファンド価額	$33.36
ファンドキャップ値（ネット）	$35.41
期間開始時の原資産価格	$648.57
原資産のキャップ値	$693.97
バッファー開始%/原資産価値	0.00% / $648.55
バッファー終了%/原資産価値	-77.82% / $143.85

» 現在価値

アウトカム期間終了までの日数	262 日
ファンド価額／リターン	$34.13 / 2.31%
原資産価格／リターン	$746.77 / 15.14%
残存キャップ率（ネット）	4.36% (3.76%)
実現する原資産リターンキャップ	-7.07%
残存バッファー率（ネット）	78.25% (77.65%)
バッファー開始までの下落率（ネット）	-2.49% (-3.09%)
バッファー終了までの原資産下落率	-80.74%
未実現オプション・ペイオフ（ネット）	4.36% (3.76%)

» 上位保有証券(%)

2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust C 6.47	110.78
2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust P 648.55	2.16
2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust P 143.85	-0.04
2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust C 693.97	-13.81

アウトカム期間開始時の設定値は、表示されたアウトカム期間の株式を保有する投資家にのみ実現される可能性があります。

引用されているパフォーマンスデータは過去のものです。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は *www.ftportfolios.jp* から確認できます。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書を入手するには、*First Trust Japan*（*www.ftportfolios.jp*）にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

ファンド株式の活発な取引市場が発展または維持されるという保証はありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

新しいバッファーは、各ターゲットアウトカム期間の開始時に設定され、一般的な市場状況によって左右されます。その結果、バッファーが対象期間ごとに上昇または下降する可能性があり、連続する対象期間において同じである可能性は低くなります。

FLEX オプションを使用して「ターゲットアウトカム戦略」を採用するファンドは、他の多くの伝統的な投資商品とは異なる特徴があり、すべての投資家に適しているとは限りません。ターゲットアウトカム・ファンドが損失を緩衝するための戦略で成功するという保証はありません。株主は投資額の全てを失う可能性があります。投資家がファンドの目論見書に定められたターゲットアウトカム期間（以下「ターゲットアウトカム期間」）の初日以降に株式を購入した場合、またはターゲットアウトカム期間の終了前に株式を売却した場合、ファンドが提供しようとしているバッファーが利用できない場合があります。

新しいキャップは、各ターゲットアウトカム期間の開始時に設定され、一般的な市場の状況によって異なります。その結果、キャップが対象期間ごとに上昇または下降する可能性があり、連続する対象期間でキャップが変わらないことはほとんどありません。

ターゲットアウトカム・ファンドは、キャップを超える利益には参加しません。投資家がターゲットアウトカム期間の初日以降にファンド株式を購入し、ファンドの価値がキャップに近いレベルまで上昇した場合、その投資家がファンド株式の投資利益を得られることがほとんどまたは全く無い可能性があります。ただし、投資家はダウンサイドリスクに対して脆弱なままです。

ターゲットアウトカム期間の終了時に、原資産ETFのその時点の価格に基づいて新たなキャップとバッファーが設定されるため、複数のターゲットアウトカム期間を通じてファンド株式を保有する投資家は、原資産ETFに匹敵する利益を長期的に享受できないか、または以前のターゲットアウトカム期間の損失を取り戻すことができず、原資産ETFの損失を超える損失を被る可能性があります。

設定と償還の全部または一部を現物ではなく現金に換えるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

ファンドは、カウンターパーティがその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な経済的損失が生じる可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

FLEXオプションの取引には、証券に直接投資することに関連するリスクとは異なる、または場合によってはそれ以上のリスクが伴います。原資産ファンドは、特定のFLEXオプションのポジションから大幅な下落を経験する可能性があり、特定のFLEXオプションのポジションは無価値で期限切れになる可能性があります。FLEXオプションには流動性のある流通取引市場が存在するという保証はなく、FLEXオプションは取引所取引オプションよりも流動性が低い可能性があります。

FLEXオプションには相関リスクがあり、FLEXオプションの価値は変動が激しく、短期間で大幅に変動する可能性があります。FLEXオプションは、満期日にのみ行使価格で行使することができます。満期日前に、FLEXオプションの価値は、市場相場またはその他の認識された価格設定方法に基づいて決定されます。ファンドの保有に関する市場相場がすぐに入手できない場合、ファンドのアドバイザーが保有の公正価値を決定する可能性がありますが、これにはアドバイザーの判断が必要であり、ミスプライシングや不適切な評価のリスクがあります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

情報技術企業は、急速に変化する技術、短い商品ライフサイクル、激しい競争、厳しい価格設定と利益率の低下、特許の喪失、著作権、商標保護、周期的な市場パターン、進化する業界標準と規制、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。

大規模な資本企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、これらは望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメーカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

大規模な資金流入と流出は、新規ファンドの市場エクスポージャーに一定期間、影響を与える可能性があります。

次のページにて追加のリスクをご覧ください。

FT Vest 米国株マックスバッファーETF-3月

リスクに関する考慮事項（続き）

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する場合があります。その結果、ファンドは、これらの発行体の1つまたは複数に影響を与える単一の経済的または規制上の不利な事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体に高く集中する可能性があります。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時期にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

ターゲットアウトカム・ファンドの投資戦略は、ファンドがFLEXオプションにエントリーした初日に株式を購入し、キャップの対象となるターゲットアウトカム期間の終了時にFLEXオプションが満了するまで保有された場合にリターンを提供するように設計されています。

ある年において、登録投資会社（RIC）としての資格を得ようとするファンドが適用される税法によって資格を得られなかった場合、そのファンドは普通法人として課税されます。ファンドのオプション戦略を含め、ファンドが投資する可能性のある証券の連邦所得税の取り扱いが明確でない場合や、内国歳入庁による再評価の対象となる場合があります。投資の税務特性、またはそのような投資からの収入の税務処理について内国歳入庁から異議を唱えられた場合、RICに適用される税務要件を遵守することはより困難になる可能性があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

ETFを参照するFLEXオプションに投資するファンドは、ETFの株式を所有するリスクと、参照ETFが投資する商品の種類のリスクの影響を受けます。

単一の資産クラス、国、地域、業界、またはセクターに投資が集中している原資産ETFは、市場全体よりも不利な事象の影響を大きく受ける可能性があります。

ETFを参照するFLEXオプションに投資するファンドは、株式証券市場へのエクスポージャーを持っています。株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、市場の特定の国、企業、業界、またはセクターでのみ発生する場合もあります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供するものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。 S&P 500®指数は、米国の大型株式市場のパフォーマンスを測定するために使用される500社の非管理指数です。ネット - 委託手数料、売買手数料、税金、ファンドの運用報酬に含まれない特別経費を除いて、経費控除後の金額。参照資産 - ファンドの投資対象となるETF、または、FLEX オプション価格のベースとなる ETF。アウトカム期間 - FLEX オプションが購入されてから満期を迎えるまでの期間。ファンドキャップ率 - ターゲットアウトカム期間の終了時にファンドが提供できる最大リターン。バッファー - ターゲットアウトカム期間の初日から最終日まで株式を保有し続ける際にファンドが回避できる下落率。期間開始時のファンド価額 - ターゲットアウトカム期間開始時のファンド基準価額。ファンドキャップ値（ネット） - ターゲットアウトカム期間の終了時にファンドが実現できる最大値。期間開始時の原資産価格 - ターゲットアウトカム期間開始時の原資産価格。原資産のキャップ値 - ターゲットアウトカム期間の終了時に、ファンドが達成できる原資産の最大値。バッファー開始/バッファー終了 - 表示されているパーセンテージは、バッファーが回避しようとする、経費控除前の参照資産の価格リターンに対する損失範囲を表しています。この数値は、バッファー範囲の開始と終了のトリガーとなる参照資産の値を表します。アウトカム期間終了までの日数 - ターゲットアウトカム期間の終了までの残り日数。ファンド価額／リターン - ターゲットアウトカム期間の開始以降のファンド価額と価格リターン。原資産価格／リターン - ターゲットアウトカム期間の開始以降の参考資産価額と価格リターン。残存キャップ率 - ファンド価額に基づき、参照資産がキャップ値を達すか上回ると仮定して、ターゲットアウトカム期間終了まで保有した場合の潜在的な最大リターン。キャップを達するまでの原資産上昇率 - ファンドが残存キャップのリターンを実現するために現在必要な参照資産のリターン。残存バッファー率 - ファンドの現在価値に基づき、ファンドが明示したバッファーの現在残存額。バッファー開始までの下落率 - ファンド価値に基づき、バッファーが発動するまでのファンドの損失許容範囲。バッファー終了を達するまでの原資産下落率 - 参照資産の現在価値からバッファー終了までの損失許容範囲。未実現オプション・ペイオフ - ファンド価額に基づき、現在の参照資産価値が変化しないと仮定し、ターゲットアウトカム期間終了まで保有した場合の、経費控除前のファンドの潜在的な価格リターン。これは、ファンドのバッファー範囲を形成する原資産オプションの内在的価値によるものです。

Target Outcomeの登録商標は、Vest Financial LLCの登録商標です。
本ファンドおよび原資産ETFは、SPDR® S&P 500® ETF Trust、PDR、Standard & Poor's®（以下、その関連会社と総称して「企業」）によって発行、後援、承認、販売、または宣伝されていません。当社は、ファンドまたは基礎となるETFに関連する説明および開示の合法性または適合性、または正確性または妥当性を伝えるものではありません。企業は、ファンドまたは原資産ETFへの投資の妥当性、またはファンドまたは原資産ETF、株主、またはSPDR® S&P 500® ETF信託の使用から得られるその他の個人または団体の結果について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。企業は、ファンドまたは基礎となるETFの管理、管理、マーケティング、または取引に関連して責任を負いません。

MARM

As of 30/6/26

FT Vest U.S. Equity Max Buffer ETF - March

» Fund Objective

This exchange-traded fund seeks to provide investors with returns (before fees and expenses) that match the price return of the SPDR® S&P 500® ETF ("SPY" or "underlying ETF"), up to a predetermined upside cap, while seeking to provide the maximum available buffer (before fees and expenses) against potential underlying ETF losses over an approximate period of one year.

» Fund Facts

Fund Ticker	MARM
CUSIP	33740U612
ISIN	US33740U6120
Intraday NAV	MARMIV
Fund Inception Date	26/3/24
Total Expense Ratio	0.85%
Primary Listing	Cboe BZX

» Fund Description

» The FT Vest U.S. Equity Max Buffer ETF – March is managed using a "Target Outcome Investments® strategy" which seeks to produce a pre-determined investment outcome during a specified time period (the "Target Outcome Period") based on the performance of the underlying reference asset. The outcome may only be realized for an investor who holds shares on the first day of the Target Outcome Period and continues to hold them on the last day of the Target Outcome Period.

» The fund invests substantially all of its assets in FLexible EXchange® Options ("FLEX Options") that reference the price performance of SPY. FLEX Options are customized options contracts that provide investors the ability to customize key contract terms, such as exercise prices, styles and expiration dates.

- The fund resets annually on the first day of each new Target Outcome Period by investing in a new set of FLEX Options that provide the buffer and cap for the new Target Outcome Period.
- For each Target Outcome Period, the fund will construct a portfolio of purchased and written put and call FLEX Options.

» The fund seeks to provide the maximum available buffer against losses while setting the predetermined upside cap of at least 7%. The buffer for the initial Target Outcome Period is expected to be 100%, however, the expected range of the buffer for future Target Outcome Periods is between 20% and 100%.

- If the fund is not able to set the buffer against 100% of the underlying ETF losses while setting a cap of at least 7%, then it would seek the maximum buffer that allows for a cap of 7%.
- If the fund can set the buffer against 100% of the underlying ETF losses while setting a cap of at least 7%, it will seek a predetermined cap that exceeds 7%.
- If the 7% minimum cap produces a buffer of less than 20%, the fund will seek to lower the minimum cap to provide a buffer of at least 20%.

» After the conclusion of the Target Outcome Period, another will begin. There is no guarantee that the outcomes for a Target Outcome Period will be realized. The cap for each subsequent outcome period will likely differ from the initial outcome period.

» Fund Sub-Advisor

» Vest Financial LLC ("Vest") is the sub-advisor to the fund and will manage the fund's portfolio.

- Vest was founded in 2012 and managed the first investment funds to use a Target Outcome Investments® strategy which were first introduced to the market in 2016.

» Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	2.12	3.33	6.32	—	—	—	7.38
Market Price	2.03	3.30	6.26	—	—	—	7.38
Index Performance**							
S&P 500® Index	15.20	10.21	22.32	—	—	—	19.04

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

*__NAV__ returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. __Market Price__ returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

FT Vest U.S. Equity Max Buffer ETF - March

As of 30/6/26

» Outcome Period Values

Number Of Holdings	4
Series	March
Reference Asset	State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust
Outcome Period	3/23/2026 - 3/19/2027
Fund Cap (Net)	7.00% (6.15%)
Buffer (Net)	77.82% (76.97%)
Starting Fund Value	$33.36
Fund Cap Value	$35.41
Starting Reference Asset Value	$648.57
Reference Asset Cap Value	$693.97
Buffer Start % / Reference Asset Value	0.00% / $648.55
Buffer End % / Reference Asset Value	-77.82% / $143.85

» Current Values

Remaining Outcome Period	262 days
Fund Value/Return	$34.13 / 2.31%
Reference Asset Value/Return	$746.77 / 15.14%
Remaining Cap (Net)	4.36% (3.76%)
Reference Asset Return to Realize the Cap	-7.07%
Remaining Buffer (Net)	78.25% (77.65%)
Downside Before Buffer (Net)	-2.49% (-3.09%)
Reference Asset to Buffer End	-80.74%
Unrealized Option Payoff (Net)	4.36% (3.76%)

» Top Holdings (%)

2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust C 6.47	110.78
2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust P 648.55	2.16
2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust P 143.85	-0.04
2027-03-19 State Street® SPDR® S&P 500® ETF Trust C 693.97	-13.81

The Outcome Period Values may only be realized for an investor who holds shares for the outcome periods shown.
Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan Co., Ltd. at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus and Statement of Additional Information for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

There can be no assurance that an active trading market for fund shares will develop or be maintained.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

A new buffer is established at the beginning of each Target Outcome Period and is dependent on prevailing market conditions. As a result, the buffer may rise or fall from one Target Outcome Period to the next and is unlikely to remain the same for consecutive Target Outcome Periods.

A fund that uses FLexible EXchange Options ("FLEX Options") to employ a "target outcome strategy" has characteristics unlike many other traditional investment products and may not be appropriate for all investors. There can be no guarantee that a target outcome fund will be successful in its strategy to buffer against losses. A shareholder may lose their entire investment. In the event an investor purchases shares after the first day of the target outcome period defined in the fund's prospectus ("Target Outcome Period") or sells shares prior to the end of the Target Outcome Period, the buffer that a fund seeks to provide may not be available.

A new cap is established at the beginning of each Target Outcome Period and is dependent on prevailing market conditions. As a result, the cap may rise or fall from one Target Outcome Period to the next and is unlikely to remain the same for consecutive Target Outcome Periods.

A target outcome fund will not participate in gains beyond the cap. In the event an investor purchases fund shares after the first day of a Target Outcome Period and the fund has risen in value to a level near the cap, there may be little or no ability for that investor to experience an investment gain on their fund shares; however, the investor will remain vulnerable to downside risk.

Since at the end of each Target Outcome Period a new cap and buffer are established based on the then current price of the underlying ETF, an investor who holds fund shares through multiple Target Outcome Periods may fail to experience gains comparable to the underlying ETF over time or recapture losses from prior Target Outcome Periods and may have losses that exceed those of the underlying ETF.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Trading FLEX Options involves risks different from, or possibly greater than, the risks associated with investing directly in securities. A fund may experience substantial downside from specific FLEX Option positions and certain FLEX Option positions may expire worthless. There can be no guarantee that a liquid secondary trading market will exist for the FLEX Options and FLEX options may be less liquid than exchange-traded options.

FLEX Options are subject to correlation risk and a FLEX Option's value may be highly volatile, and may fluctuate substantially during a short period of time. FLEX Options will be exercisable at the strike price only on their expiration date. Prior to the expiration date, the value of the FLEX Options will be determined based upon market quotations or other recognized pricing methods. In the absence of readily available market quotations for fund holdings, a fund's advisor may determine the fair value of the holding, which requires the advisor's judgement and is subject to the risk of mispricing or improper valuation.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

Information technology companies are subject to certain risks, including rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards and regulation and frequent new product introductions.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

Please see additional risks on the following page.

Risk Considerations (continued)

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Large inflows and outflows may impact a new fund's market exposure for limited periods of time.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

A target outcome fund's investment strategy is designed to deliver returns if shares are bought on the first day that the fund enters into the FLEX Options and are held until the FLEX Options expire at the end of the Target Outcome Period subject to the cap.

If, in any year, a fund which intends to qualify as a Registered Investment Company (RIC) under the applicable tax laws fails to do so, it would be taxed as an ordinary corporation. The federal income tax treatment of the securities in which a fund may invest, including a fund's option strategy, may not be clear or may be subject to recharacterization by the Internal Revenue Service. It could be more difficult to comply with the tax requirements applicable to RICs if the tax characterization of investments or the tax treatment of the income from such investments were successfully challenged by the Internal Revenue Service.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

A fund that invests in FLEX Options that reference an ETF is subject to certain of the risks of owning shares of an ETF as well as the risks of the types of instruments in which the reference ETF invests.

An underlying ETF with investments that are concentrated in a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by adverse events than the market as a whole.

A fund that invests in FLEX Options that reference an ETF has exposure to the equity securities market. Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan Co., Ltd. is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

The **S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance. **Net** - After fees and expenses, excluding brokerage commissions, trading fees, taxes and extraordinary expenses not included in the Fund's management fee. **Reference Asset** - The underlying ETF which the fund provides exposure to, and which the FLEX Options prices are based on. **Target Outcome Period** - The period between when the FLEX Options were purchased and when they will expire. **Fund Cap** - Maximum possible return that the fund can provide at the end of the Target Outcome Period. **Buffer** - The amount of downside protection the fund seeks to provide if held for the full Target Outcome Period. **Starting Fund Value** - The Net Asset Value (NAV) of the Fund at the start of the Target Outcome Period **Fund Cap Value** - The maximum value of the Fund at the end of the Target Outcome Period if the fund realizes its maximum cap. **Starting Reference Asset Value** - The value of the reference asset at the end of the Target Outcome Period if the fund realizes its maximum cap. **Reference Asset Cap Value** - The value of the reference asset at the end of the Target Outcome Period if the fund realizes its maximum cap. **Buffer Start / Buffer End** - The percent shown represents the range of losses on the price return of the reference asset, before fees and expenses, that the buffer seeks to protect against. The values represent the reference asset values that trigger the start and end of the Buffer range. **Remaining Outcome Period** - The number of days remaining until the end of the Outcome Period. **Fund Value/Return** - The value and the total return of the Fund since the start of the Outcome Period. **Reference Asset/Value Return** - The value and the price return of the Reference Asset since the start of the Outcome Period. **Remaining Cap** - Based on the Fund's value, the best potential return if held to the end of the Outcome Period, assuming the Reference Asset meets or exceeds the Reference Asset Cap Value. **Reference Asset Return to Realize the Cap** - The return of the Reference Asset currently needed in order for the Fund to realize the return of the Remaining Cap. **Remaining Buffer** - The current amount of the Fund's stated buffer remaining. **Downside Before Buffer** - Based on the Fund value, the amount of the Fund loss that can be incurred prior to the buffer taking effect. **Reference Asset to Buffer End** - The loss of the Reference asset from its current value to the Buffer End Reference Asset Value. **Unrealized Option Payoff** - Based on the Fund's value, the potential investment outcome of the Fund, before fees and expenses, if held to the end of the Target Outcome period assuming the current Reference Asset Value remains unchanged. This is due to the intrinsic value of the underlying options positions that create the Fund's buffer range.

The Target Outcome registered trademarks are registered trademarks of Vest Financial LLC.

The fund is not sponsored, endorsed, sold or promoted by SPDR® S&P 500® ETF Trust, PDR, or Standard & Poor's® (together with their affiliates hereinafter referred to as the "Corporations"). The Corporations have not passed on the legality or suitability of, or the accuracy or adequacy of, descriptions and disclosures relating to the fund or the FLEX Options. The Corporations make no representations or warranties, express or implied, regarding the advisability of investing in the fund or the FLEX Options or results to be obtained by the fund or the FLEX Options, shareholders or any other person or entity from use of the SPDR® S&P 500® ETF Trust. The Corporations have no liability in connection with the management, administration, marketing or trading of the fund or the FLEX Options.

Teneo Partners

ご留意事項

◆本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

◆ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「ＰＰＭ（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。

◆本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。

◆本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。

◆本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものでは無く、記載内容は予告なく変更されることがあります。

◆本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。

◆ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

◆本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。 又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026082805

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業　関東財務局長（金商）第2315号　加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階　Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp